

令和2年度

公益財団法人荒川区自治総合研究所

事業報告書

自 令和2年4月 1日  
至 令和3年3月31日

公益財団法人荒川区自治総合研究所



# I 庶務事項

## 1 役員等の異動

年月日	役職	氏名	適用
令和2年5月25日	理事	西川 太一郎	再任
令和2年5月25日	理事	藁谷 友紀	再任
令和2年5月25日	理事	猪狩 廣美	再任

令和2年5月25日の理事会において、西川理事及び藁谷理事が代表理事に選任されるとともに、西川理事が理事長、藁谷理事が副理事長に選任された。

## 2 理事会の開催

回	開催等月日	決議及び報告事項
第1回	令和2年 4月28日 (決議の省略)	議決事項 1 令和元年度事業報告について決定する。 2 令和元年度収支決算について決定する。 3 令和2年度第1回評議員会の招集について決定する。
第2回	令和2年 5月25日 (決議の省略)	議決事項 1 理事 西川太一郎氏を代表理事に選任するとともに理事長とする。 2 理事 藁谷友紀氏を代表理事に選任するとともに副理事長とする。
第3回	令和2年 9月1日	報告事項 1 令和2年度荒川区自治総合研究所の前期活動の状況について報告する。

第4回	令和3年 3月11日	議決事項
		<ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和3年度事業計画について決定する。</li> <li>2 令和3年度収支予算について決定する。</li> <li>3 令和3年度における資金調達及び設備投資について決定する。</li> <li>4 評議員選定委員会の外部委員(区民委員)の選任について決定する。</li> <li>5 評議員選定委員会に推薦する評議員候補者の決定について決定する。</li> <li>6 令和2年度第2回評議員会の招集について決定する。</li> </ol>
		報告事項
		<ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和2年度荒川区自治総合研究所の活動状況について中間報告する。</li> </ol>

### 3 評議員会の開催

回	開催月日	決議及び報告事項
第1回	令和2年 5月25日 (決議の省略)	議決事項
		<ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和元年度収支決算について承認する。</li> <li>2 西川太一郎氏を理事に選任する。</li> <li>3 藁谷友紀氏を理事に選任する</li> <li>4 猪狩廣美氏を理事に選任する</li> </ol>
		報告事項
		<ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和元年度の事業について報告する。</li> </ol>
第2回	令和3年 3月26日 (決議の省略)	議決事項
		<ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和3年度事業計画について承認する。</li> <li>2 令和3年度収支予算について承認する。</li> <li>3 令和3年度における資金調達及び設備投資について承認する。</li> </ol>
		報告事項
		<ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和2年度の荒川区自治総合研究所の活動状況について中間報告する。</li> </ol>

## Ⅱ 事業実施の状況

### 1 調査研究・政策形成支援事業（定款第4条第1項第1号事業）

#### (1) 荒川区民総幸福度（GAH）に関する研究

##### ① 趣旨

- ・ 「幸福実感都市あらかわ」の実現に向けて、荒川区民総幸福度（以下「GAH」という。）に関する調査研究を行った。GAHの研究については、荒川区民の幸福度を測る指標化の側面と、区民をはじめ荒川区に関わるすべての人や団体等が幸福について共に考え、地域の幸福のための活動につなげていく運動の側面を踏まえ取り組んだ。

##### ② 調査研究の概要

- ・ 区民の幸福実感を調べるため、「健康・福祉」「子育て・教育」「産業」「環境」「文化」「安全・安心」の6つの分野のGAH指標を用いたこれまでのGAH区民アンケート調査の結果について、回答者の属性ごとの傾向や関連するデータを詳しく調査するなど、より深く分析を進めた。
- ・ また、調査の精度をより向上させるためのGAH区民アンケート調査における設問文の見直しの検討を行った。

#### (2) 中学卒業後の子ども・若者が抱える困難に関する研究

- ・ 前年度に引き続き、行政と接点が少なく「困難な状況にある」と考えられる荒川区の中学校卒業以降の子ども・若者の実態を把握することを目的として調査研究を行い、研究報告書を作成した。

#### (3) 住民の幸福実感向上を目指す基礎自治体連合（通称：幸せリーグ）運営支援

- ・ 参加自治体の首長及び職員が、相互に施策等に関する意見交換等を行うことを通じて、住民サービスの一層の充実と幸福度の向上を図ることを目的とする「住民の幸福実感向上を目指す基礎自治体連合（通称：幸せリーグ）」の事務局として、区と共同で運営に携わった。
- ・ 参加自治体数 88（令和3年3月末日現在）
- ・ 幸せリーグの活動は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響をふまえ、主に各自治体の首長による、会全体の運営に関する事項を議論する総会と、実務担当者による、情報共有・研究等を行う実務者会議については、会場での開催を見合わせた。
- ・ 総会は書面決議の形式で決算の承認及び役員改選を行った。

- ・ 実務者会議ではテレビ会議を実施し、新型コロナウイルス感染症の対策として各自治体が行っている取り組み等について、報告・意見交換を行った。
- ・ また、新型コロナウイルス感染症の影響下でも、幸せリーグの活動を継続して各自治体の行政運営に役立てられるように、幸せリーグ顧問からの寄稿文をまとめた冊子を作成した。

## 2 人材育成事業（定款第4条第1項第2号事業）

### （1） 区職員の研究員配置

- ・ 研究員として研究所に派遣された区職員3名については、非常勤研究員とともに研究活動に従事することにより、調査研究のノウハウを培うとともに、政策形成能力など職員の総合的な能力の向上に努めた。

### （2） GAHに関する区職員研修

- ・ 主任1年目の職員を対象に、GAHの考え方や行政運営への反映等について理解を深め、GAHを基点とした政策形成能力の向上を図るため、区と共同で研修を実施した。

- 日 時 令和2年12月4日（金）午前9時
- 場 所 サンパール荒川 小ホール
- 出席者 35名
- 内 容 GAHの概要や区民アンケート調査の分析例、区政への反映状況等について、研究所の研究員と区（総務企画課）の職員が講師となって説明した。

### （3） 特別区長会調査研究機構研究プロジェクトへの研究員の参加

- ・ 特別区長会調査研究機構で取り組んでいる研究テーマ『「持続可能な開発のための目標」（SDGs）」に関して、特別区として取り組むべき実行性のある施策について』に当研究所の職員が参加し、知見を深めた。

### 3 情報収集・情報発信事業（定款第4条第1項第3号事業）

#### (1) 「GAHレポート」の発行

- ・ GAH調査の結果を分析することで、区民が日々の生活や地域について感じていることなどを把握し、それを広く区民と共有していくため、「GAHレポートVOL. 03」を発行した。

#### (2) 「荒川区民総幸福度（GAH）推進リーダー会議」の運営

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響を勘案し、会議の開催を見合わせた。代替として、GAHについてより理解を深めていただき、今後のGAH推進リーダーの活動に活かしていただくために、GAHに関する取り組みや寄稿をまとめた冊子を作成し、配付した。
- ・ また、今後のGAH推進リーダーの活動や、調査研究の参考とするために、日頃の活動を通して気付いたことや新型コロナウイルス感染症の影響下での暮らしや考え方についてのアンケートを実施した。

#### (3) ニュースレター「RILAC NEWS」の発行

- ・ 研究所における調査研究活動の動向を掲載したニュースレター（No. 23）を発行し、区窓口や関係機関に配布し、周知した。

#### (4) ホームページの運営

- ・ 研究所の概要、研究テーマ紹介、発行物紹介、調査研究活動等の情報を幅広く区内外に発信した。
- ・ 幸せリーグ専用ホームページにおいて、総会や実務者会議の活動状況等を発信した。

#### (5) 荒川コミュニティカレッジとの連携講座

- ・ 荒川コミュニティカレッジとの連携講座にて、GAHの取り組み内容や地域活動に役立てるためのワークショップの紹介を動画で行った。
  - 日時 令和2年10月26日（月）午前9時 収録  
令和2年12月1日（火）～令和2年12月8日（火） 配信
  - テーマ 「私たちや地域の幸せを考える」
  - 受講者 32名（荒川コミュニティカレッジ受講生）
  - 内容 GAHの概要や取り組み内容についての説明の後、「幸福」をテーマとするワークショップの紹介を行った。受講生には個人用ワークシートを配付し、動画視聴の際に個別に取り組んでもらった。

**(6) その他の情報発信**

- ・ 学生や民間団体の視察対応を行った。(2件)

※平成21年10月から令和2年3月末日までの視察・取材の実績は529件

令和3年4月21日

## 監査報告書

公益財団法人荒川区自治総合研究所

理事長 西川 太一郎 様

公益財団法人荒川区自治総合研究所

監事 利根川 弘衛 

監事 笠島 健司 

私達は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第199条並びに公益財団法人荒川区自治総合研究所定款第9条に基づき、同財団の令和2年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告します。

### 1 監査方法の概要

- (1) 会計監査について、会計帳簿及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて実施した。
- (2) 業務監査について、事務局長及び関係職員から実施事業の報告を聴取するとともに、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて実施した。

### 2 監査結果

- (1) 財務諸表（貸借対照表・正味財産増減計算書）、財産目録及び収支計算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、収支状況及び財産状態を適正に表示しているものと認める。
- (2) 事業報告書の内容は適正であると認める。
- (3) 理事の業務執行は適正であり、定款及び諸規程に違反する事実はないと認める。